

事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和5年 3月31日

事業所名: 合志市社協れんがの家

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・限りあるスペースを最大限に活動できるように流動的に使用したり使い方を話し合う機会を作っている。 ・パーティションや机の設置場所等とも考えて設置している。 ・規定上はクリアしているが、療育活動を行う点では環境調整やクールダウンスペースが設けにくい。パーティションで工夫しているところである。 ・その日の利用者さんの数などによってはスペース不足や人員不足を感じる事があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用数が多く動きが多い子がいるときは戸外へ出たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の指定基準以上を満たしている。 ・クラス別で活動をおこなっているため、利用スペースを最大限活用しているが、スペースが限られているため、パーティションを活用し工夫しながら環境調整を行っている。その日に利用する人数やメンバーにより集団や活動によって調整する場合もある。
	② 職員の配置数は適切である	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・人数は規定通りなのだろうが様々な症状の子に対応するには・・・ ・配置のスタッフが出勤(業務にあたることができる)できていることが大前提である。 ・その日の利用者さんの数などによってはスペース不足や人員不足を感じる事があります。 ・グループをまとめることで朝や食事時は全体で見守るようにしている。 ・食事準備、食事、片付け子供を待たせてしまう場面がある。 ・しっかり対応できていない時がある。 ・配置基準(加配含む)以上の配置ではあるが、対象年齢、発達段階により充実した丁寧な療育を行うためには不足していると考える。 	<p>人員配置基準の常勤2名に、作業療法士、保育士の加配2名を配置、それ以上に臨時職員として保育士を配置している。</p>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・元来が民間の家なのだができうる限りは、配慮を行っているが構造上どうしても難しい部分がある。 ・環境の工夫が行いにくい。ICT等の活用に向けたとくみも必要である。 ・トイレが子どもサイズではないので使いにくく感じます。 ・限られたスペースで仕切りをおいたりするなどしている。 	<p>他事業と共有部分においてもパーティションを活用し配慮を行いながら環境設定を行っている。</p>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・元来が民間の家なのだができうる限りは、配慮を行っているが構造上どうしても難しい部分がある。 ・そうなるよう努力はしている。 ・環境面に関してはスタッフ間で検討を重ねているが課題が多い。 	<p>環境面においては、常に検討を重ねながら対応している。衛生面に関しては、昨年度から継続し新型コロナウイルス感染症マニュアルに沿って清掃消毒を行っている。また状況によりアルコールから次亜塩素酸ナトリウムでの消毒に切り替えを行っている。</p>
	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・週一のミーティング、毎朝のミーティングで参画の機会としている。 ・週一回のミーティングでは、できているが毎日の振り返りは時間とれず難しい。 ・ミーティングや申し送りノートを活用し取り組んでいる。日頃のコミュニケーションが大切であると考える。 ・振り返りをする時間をとるのがむずかしい。 	<p>朝のミーティング、週1回のミーティングを行い、ミーティング記録及び申し送りノートを活用することで常勤、非常勤職員全体に情報の漏れがないよう努めている。</p> <p>終了時間、勤務体制により振り返りの時間を確保することが難しい部分を、申し送りノートで補うよう努めている。</p>
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 	<p>今後も継続して検討し、実施していく。</p>

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・公開している。	社協ホームページに掲載するとともに、事業所内に閲覧用ファイルを設置、公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		今後、第三者評価を取り入れていく予定である。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	・コロナ渦でオンライン研修など活用。 ・研修等への参加が不足している。 ・オンライン研修等に参加できるよう配慮したが、業務や臨時職員の労働時間制約があるため勤務時間内の受講が実質難しい。	職員資質向上のため、オンライン研修等活用しながら取り入れていく。また、受講しやすい環境を整えていく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・事前に会議を行い多角的に分析し作成へ繋げている。 ・アセスメント表KIDSやJSIRを取り入れている。	発達スケールを参考に生活や活動場面でアセスメントを行い、個別支援会議職員全体で検討を行った上で個別支援計画を立案作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	KIDSなどを使用。	KIDSを基にした独自のアセスメントツールは使用している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・計画書記入のとおり。 ・会議において多職種で検討し支援を行っている。 ・個別支援会議を定期的に行い、各項目別に論議している。	個別支援会議録を各項目に分け、ガイドラインに沿って焦点を当てた論議を行っている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・ミーティングにて共有。	朝のミーティング、個別支援会議で共通理解を図っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・週案として立案している。 ・週案を担当が作成しチームで検討を行っている。 ・ミーティングで話し合っている。	にじ(年長・年中児)ぐるーぷは年間計画を立て、それに沿ってミーティングにおいて週案を立案している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・週案として立案している。 ・年間計画に基づき、週案で詳細に立案しながら取り組んでいる。	個別支援計画に基づき、保護者のニーズを取り入れながら利用児に応じて内容を検討。固定しないよう工夫を行っている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・にじ・ほし、つき と組み合わせ支援を行っている。	にじ(年長・年中児)とほし(未満児・年少児・年中児)かくぐるーぷにおいて、小集団と個別活動に取り組み、つき(年長・年中児対象)ぐるーぷにおいては就学に向けて個別に取り組んでいる。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝のミーティングを行っている。 ・ミーティングで申し送り事項も含めて細かく確認を行っている。 ・朝のミーティングで確認する。	個別支援計画に基づき、個人の目標を毎朝確認し、打ち合わせを行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り等は職員間で振り返っている。会としては開催していないが。 ・毎日は難しい。子どもたちの発達、様子の伝達はしている。 ・勤務時間、療育時間に違いがあり申し送りノートも活用しながらすすめている。 ・振り返りの時間を取ってないですができるだけその日気づいた事等を話すようにしています。 ・それぞれの担当間で申し送りの兼ね振り返りを行っている。 	会議形式ではないが話し合いはできている。今後は記録に残し更に共有を図っていく。また、業務の簡素化を図り付箋を活用していく。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録をとるようにしている。 ・毎回利用時に、保護者からの連絡、朝の会、活動、その他と項目別に記録をとっている。 	特記様式に記録している。情報共有ノートにも記録を残している。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議で行っている。 ・毎週モニタリング、更新の時期に合わせて、定期的に行い個別支援計画の見直しを行っている。 	個別支援会議を定期的に行い見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		主に児童発達支援管理責任者が参加、必要に応じて担当保育士、専門職(作業療法士)が出席し情報共有を図っている。	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜行っている。 ・必要に応じて行っているが、不足していると感じている。 ・市保健師、女性子どもと必要に応じて連携を図っている。 	関係機関とさらに連携し、迅速に対応できるよう努めている。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には行っている。 ・必要に応じて行っている。 		
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている。サポートシートなどのツールを活用している。 ・入学前支援会お議に出席、または独自の就学サポートシートにて情報提供を行っている。 	必要に応じて相談員と連携し、支援会議を設定するなど情報共有と相互理解を図っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関や保護者との連携	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	・研修参加に関して不足していると感じる。 ・就学前に年中児保護者を対象にした講話を依頼している。	地域療育センターより、保護者向けに就学に向けた勉強会を開催している。 勤務調整を行いながら、研修参加に努める。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	・コロナの中、方法を模索している。 ・コロナの為、交流は難。 ・コロナの影響から行えていない。 ・コロナの為できていない。	新型コロナウイルス感染症の影響により、交流の機会を設定することができなかった。
	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1	開催時には児発管が出席している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、代表者が出席している。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・連絡帳、LINEなど活用。・保護者会や連絡長、送迎時などに取り組んでいるが、計画書説明時により丁寧な伝達も必要である。 ・連絡帳や保護者会、面談にて情報共有をしている。	園送迎のため、保護者と直接話す機会が少なく、連絡帳で情報の共有を行っている。、説明を面談で行いよう更に努めていく。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	・保護者会の開催。 ・土曜日に「親子れんが」を開催。保護者への支援も行っている。	・保護者会の開催や土曜日に「親子れんが」を開催。引き続き保護者への支援も行っていく。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・契約時に行っている。	年度初めの事業説明会時と契約時に丁寧に説明を行っている。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	・契約時に行っている。 ・よりていねいな説明が必要である。	面談にて説明を行っていく。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・保護者会などにて聞き取り。 ・親子れんがや保護者会として取り組んでいるが、個別面談を必要に応じてより多く取り組む必要があるとも考える。	連絡帳での相談については当日に返信、または必要に応じて電話にて迅速に対応している。また、必要に応じて事業所内相談支援を随時行っている。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者会を年間計画に基づき開催している。	回を重ねるごとに必要性を感じている。また保護者からも要望あり継続していく。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		担当や児童発達支援管理責任者が迅速に対応し、職員全体で情報収集し全職員が対応できるよう努めている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		毎月発行、情報発信を行っている。必要に応じ、動画でも提示している。
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	職員研修で取り入れている。	職員研修で定期的に行っている。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		視覚支援、空間作り等子どもに応じて配慮、工夫している。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	・コロナ後から機会が減っていると感じる。	新型コロナウイルス感染症により、難しい状況が続いている。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0		各マニュアルに基づいて行っている。年1回保護者に周知した訓練を行うよう努める。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		災害訓練を年2回、防犯訓練を年1回行っている。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		契約時に丁寧に聞き取りを行うとともに、毎年児童票を更新し確認を行っている。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	看護師とも協議しながら対応している。	今後も利用開始時に必ずアセスメントを行い、書面で確認するとともに職員全員が確認できるよう表示していく。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		小さなことも記録し、ミーティングで振り返りを行い再発防止に努めている。
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		事業所内に虐待防止委員会を設置し、虐待を防止する研修を定期的実施、職員の意識向上に努めている。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		個別支援計画書に、安全を優先し身体拘束の適正化に基づく支援内容を記載している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	-------------------	------------------------------

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。